



きれいな学校 輝く笑顔 ～J(授業)A(挨拶)S(清掃)MI(身だしなみ)N(仲間)～

大久保中だより

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

「売らない、貸さない、壊さない」世界遺産、富岡製糸場を守った会社!!

校長 新井 敬二郎

みなさんも一度や二度はさいたま新都心にある「ココーン」に行ったことがあるでしょう。ココーン(cocoon)とは英語で(カイコなどの)繭(まゆ)のことです。実はこのココーンを運営しているのが片倉工業株式会社で、富岡製糸場を創業したことにちなんで大型ショッピングセンターをココーンと命名したそうです。さて、富岡製糸場が世界遺産に登録されました。おめでとうございます。社会科の歴史教科書には、明治の殖産興業の一つとして、「日本の輸出を支える生糸の増産や品質の向上を図るため、群馬県の富岡製糸場などの官営模範工場を作り、優れた技術を紹介し、新しい技術の開発や普及を図りました。」(東京書籍 p153)と掲載されています。また、同ページに埼玉県の偉人渋沢栄一(しぶさわえいいち)氏が紹介されています。私は、4/27に富岡製糸場、8/6に深谷市渋沢栄一の生家(中の家)、記念館を訪ねてきましたのでその話をしたいと思います。

富岡製糸場は、当日人の波でごった返していました。こんなに人が集まるとは……世界遺産効果に驚きです。製糸場はとにかく大きい。明治時代末期には日本の生糸の生産量・輸出量は世界一となり、世界的な絹の大衆化に貢献したと言われていました。この製糸場自体は1987年に操業を停止してしまいます。ところが前出の片倉工業は、赤レンガづくりの建物を保存し、富岡市に寄贈するまで18年間、担当者を配置して敷地内の草刈りや清掃、建物の修繕を続けます。年間の管理コストは1億円にものぼったといいますが、「我々のルーツは簡単に手放せない」「売らない、貸さない、壊さない」と5万平方メートルの敷地を守り続けました。私企業が守ってくれたおかげで、ほとんど創業当時のままに施設が残されたのは奇跡だと言えます。1時間程度で見学できますのでぜひ行ってみてください。

この富岡製糸場の設立に尽力されたのが埼玉県出身の渋沢栄一氏、尾高惇忠(おだかじゅんちゆう)氏です。誰もが知っている渋沢栄一氏は、幕末には徳川慶喜の家臣となり、1867年に渡欧してヨーロッパの思想・文化・社会に大きな影響を受けます。帰国したのちは、大隈重信に請われ明治新政府に任官します。明治初期、富岡の地に製糸場設立が決まると大蔵省の渋沢栄一氏が中心となって計画を進めます。工場のレンガやモルタルは自前で作らせた。現在も深谷駅が東京駅を模したレンガ造りなのは、深谷にレンガ工場をつくったからです。栄一氏は、論語の師であり、いとこの尾高惇忠氏を初代工場長にし、運営を任せます。惇忠氏は、工女の教育に重点を置き、一般教養の向上を図り、風紀の乱れには厳しくあたったそうです。その誠実な人柄ゆえ、人々は信頼を寄せ、自分の娘を工女として働かせることが誇りであると考えられるようになったそうです。世界遺産富岡製糸場の帰りに、「近代日本経済の父」渋沢栄一氏の深谷市に立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



区分	登録年	登録名	所在地
1 文化	1993	法隆寺地域の仏教建造物	奈良県
2 文化	1993	姫路城	兵庫県
3 自然	1993	屋久島	鹿児島県
4 自然	1993	白神山地	青森・秋田県
5 文化	1994	古都京都の文化財	京都府・滋賀県
6 文化	1995	白川郷・五箇山の合掌造り集落	岐阜・富山県
7 文化	1996	原爆ドーム	広島県
8 文化	1996	厳島神社	広島県
9 文化	1998	古都奈良の文化財	奈良県
10 文化	1999	日光の社寺	栃木県
11 文化	2000	琉球王国のグスク及び関連遺産群	沖縄県
12 文化	2004	紀伊山地の霊場と参詣道	三重・奈良・和歌山県
13 自然	2005	知床	北海道
14 文化	2007	石見銀山遺跡とその文化的景観	島根県
15 文化	2011	平泉	岩手県
16 自然	2011	小笠原諸島	東京都
17 文化	2013	富士山	静岡県・山梨県
18 文化	2014	富岡製糸場と絹産業遺産群	群馬県